

立正大学 心理学部20周年記念公開講座

こもり上手と なるためには コロナ後のひきこもりを考える

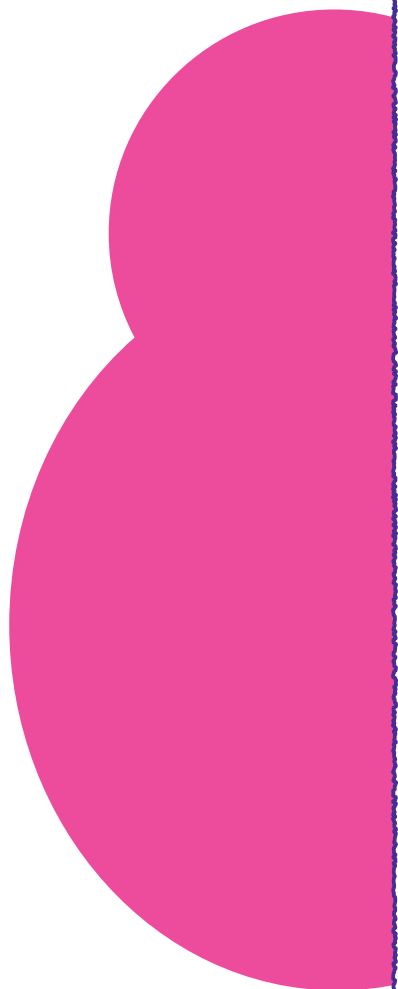
8月28日 2022 SUN 14時～16時

立正大学品川キャンパス（ロータスホール）

ハイブリッド開催（オンライン・会場参加併用）

登壇者：斎藤環／増淵裕子／高比良美詠子

共催：品川区



Rissho Univ. Faculty of Psychology
20th Anniversary Open Lecture

Think about “hikikomori” after COVID-19

August 28, 2022 (Sun)

14 : 00 ~ 16 : 00

Rissho University Shinagawa Campus (LOTUS HALL)

Venue participation & Online

150th
RISSHO

 立正大学
「モラリスト×エクスパート」を育む。



△心理学部の
ホームページ
はこちらから

世界中がひきこもる時代に

ひとりの時間を多くもつ若者は、一般的な意味合いの“ひきこもり”などと揶揄され、自己否定を深め、対人関係から撤退・回避してしまうという悪循環に陥りがちです。オンラインでもつながり、ひきこもりの根本原因と考えられる“つながりの分断”に陥らずに、メンタルの危機を回避できるとすれば、“ひきこもり”もライフスタイルの一つとして認められるべきではないでしょうか。

新型コロナウイルスによって、私たちのライフスタイルは大きく変わりました。ステイホームが推奨されたコロナ対策に翻弄された結果、コロナ対策だけでなく日常的に社会との関わりに、自宅からのオンライン化がすすみました。この現状は、国民、いいえ世界総“ひきこもり化”といえるでしょう。そして、うつ状態などのメンタルの危機に陥った人々の数は決して少なくありません。親しい人々とのつながりを感じるができなくなり、いかにつながり感を失わずに上手に“ひきこもる”かは、大人にとっても課題です。

そこで本公開講座では、ひきこもり支援の専門家の先生や、青年期のひとりの時間を重視する先生をお招きして、“ひきこもり”について改めて考える機会を提供できればと企画したものです。さらに、このような臨床心理学の視点とは異なる社会心理学の視点からも、人と人がつながることの意味について改めて考えることで、“こもり上手”になるためのヒントについて多面的に考えて行ければと思います。

講師



筑波大学医学医療系
社会精神保健学 教授

齋藤 環

「ひきこもり」診療の第一人者。筑波大学を卒業後、稲村博先生に師事。民間の精神病院で豊富な臨床経験を積んだ後、現在では筑波大学医学医療系社会精神保健学・教授を務める。専門は思春期・青年期の精神病理学で、「ひきこもり」の治療・支援ならびに啓蒙活動。著書に『社会的ひきこもり』、『中高年ひきこもり』、『世界が土曜の夜の夢なら』（角川財団学芸賞）、『オープンダイアログとは何か』、『社会的うつ病』の治し方』ほか多数。

指定討論者



昭和女子大学 人間社会学部
心理学科 専任講師

増淵 裕子

青年の心理発達に「ひとりの時間」が及ぼす影響についての研究をまとめ、『現代青年の「ひとりの時間」に関する発達心理学的研究—自我同一性形成との関連に焦点を当てて—(単著)』を出版。昭和女子大学大学院 助教を経て、2018年より現職。専門は臨床心理学・青年心理学。博士(学術)・公認心理師・臨床心理士。主な著書に『ノードとしての青年期(共著)』『教職に生かす教育心理学(共著)』など。



立正大学 心理学部
対人・社会心理学 教授

高比良 美詠子

社会心理学の立場から、個人の適応状態を高めるコミュニケーションのあり方について検討。メディア教育開発センター研究開発部准教授、中部大学人文学部教授を経て、2017年より現職。専門は、臨床社会心理学・ポジティブ心理学。博士(人文科学)。主な著書に『ネガティブ思考と抑うつ—絶望感の臨床社会心理学—(単著)』『インターネット心理学のフロンティア(共著)』『社会心理学(共著)』など。

司会

立正大学名誉教授
立正大学心理臨床センター
前センター長

沼 初枝



公開講座の申し込みについて (本講座は16歳以上の方を対象とした講座になります)

受講無料

〔募集期間〕 7月19日(火) — 8月18日(木)

〔定員〕 会場参加：140名 一般の方 70名 / 大学関係者 70名 / オンライン：定員なし

▼申し込みはこちら

一般の方

品川区ホームページ
電子申請ページから
お申し込みください。



立正大学在校生
修了生及び
大学関係者の方

専用フォームから
お申し込みください。



【共催】立正大学心理学部・品川区 【協力】北海道東川町

【お問合せ】品川区文化観光課 生涯学習係 TEL：03-5742-6837 / 立正大学心理学部 事務局 TEL：03-3492-6196

○会場参加の申し込みは募集期間内であっても定員に達し次第終了します。○コロナ感染拡大状況によっては開催形式が変更となる場合があります。

○ご提供いただいた個人情報は本講座の運営のみに使用します。○詳細は立正大学心理学部ホームページでもご確認ください。